



おおもり教育のつどい2020

— 学びぼう、語ろう、子どもと学校-コロナ禍から見えてきたもの —



日時 2020年11月7日(土) 12:30~17:30
会場 青森県教育会館 (青森市橋本一丁目2-25)

保育所有り。
保育料 無料

●全体講演 13:00~15:00

「すべての生徒が楽しく過ごせる学校づくり」
～インクルーシブな学校をめざして～



西郷 孝彦 氏

(10年で校則を無くした中学校・世田谷区立桜ヶ丘中前校長)

※教育関係者に限り、全体講演のみ ZOOM 配信します。参加費の入金を確認後、ID・パスワードをお知らせします。
(詳細は事務局まで)

●参加費 1,000 円(大学生以下無料)

桜ヶ丘中学の朝は、他の中学校と少し様子が違う。子ども達の服装がバラバラだ。教職員からの声掛けはその恰好なんだから「おしゃだね」と変わった。教室をのぞくと、正面の黒板の周りには一切の掲示物がな。連絡事項等は全て教室の後ろにある。机、椅子の脚には中古のテニスボールがはめられている。その机も整然と並んでいない。自由を優先したからではない。一つに派がある。3年生のクラスでは、子ども達がノートや問題集を広げてミニ勉強会が始まっている。一方、1年生のクラスは3年生の3倍うるさい。

一階の職員室前の廊下にはテニスが並べられ、授業参加が難しい子等がパソコンや本を読んでいる。この子が自由に登校してくるのに、いわゆる普通の子等のみに登校時間を強制することはかえってマイナスであるという結論に達した。突然廊下で叫び声が上がると一人の子が物を投げつけ展示物が四散する。以前は人に当たっていたのに大きな成長だ。その子は、失敗と失敗に対する怒りに折り合いをつけながら展示物をもとに戻す。「えらいね。片付けられて見ていた教員から声が出る。また、まじめできちんとしていた女子生徒は茶髪にすることで自分自身を取り戻していた事例もあった。もし、校則が必要だとしたら、ただ子ども等、一人人が幸せな3年間を送ること、この一つしかない。

桜ヶ丘中の特徴は、①校則がない②宿題がない③登校時間は自由④授業中、廊下で学習しても良い...等々。それ等は、私が高い理想に燃えて決めたことではない。2010年、私は世田谷区立桜ヶ丘中に校長として赴任した。朝礼時、教員たちの怒声が飛び交った。「そこ早く並べ」「後ろ向くな」「遅刻したもの、後に並べ」。当然、修学旅行も同じであった。恥ずかしかった。前後し、教員が女生徒の紺色の靴下を注意していた。なるほど、校則には靴下は白色と明記してある。生徒指導主任に訊くと「汚れが分かり清潔と返ってきた。しかし、そうすると冬のセーターは紺色という校則の説明がつかない...」校則をなくした中学校

当日、お会いすることを楽しみにしています。

主催 あおもり教育のつどい2020 実行委員会

(青森県教職員組合、青森県高等学校・障害児学校教職員組合、青森県私立学校教職員組合連合)

【事務局】 青森県教職員組合...青森市橋本一丁目2-25 / TEL: 017-734-7279 / FAX: 017-777-1440

/E-mail: aomorit@iaa.itkeeper.ne.jp

後援 青森県教育委員会、青森市教育委員会、平内町教育委員会、今別町教育委員会、
外ヶ浜町教育委員会、蓬田村教育委員会、日本教育公務員弘済会青森支部、青森
県教育厚生会

※当日の参加について...マスクの着用にご協力ください。また、受付で検温を行い、体温が37.5℃以上の方は参加できません。

★参加申し込みは裏面★



分科会

15:20～17:30 ※分科会「学校事務」のみ 10:00～12:00



分科会	話題提供	担当	研究協力者
1 小学校と教育	Mr.マサツクの楽しい理科実験 (材料費 1,000 円—材料は 20 名分用意。予約の方へ優先配布。当日参加可。) 「子どもと子どもをつなぐために—学級文集 「ほっこり」を通して—」高橋知歩(篠田小)	阿部聡 (六戸小) 佐藤一幸 (附属小)	工藤貴正 (Mr.マサツクと元高校教員) 工藤ふみ (教育相談室)
2 中学校と教育	「N 高に進学するということ—A 君からの問題提起—」 松林宏樹 (三本木中) 「学級の生徒たちから見えること—低学力の要因—」 木村恵子 (平賀東中)	中山真理(鎌崎中) 山田恵美(十和田東中)	一戸義規 (県教組)
3 高校と教育	「教えない授業の実践」後藤真人 (五所川原第一) 「心で感じる授業」三宅愛 (野辺地高)	片桐拓石(弘前南高) 山川夏子 (五所川原南校)	田村儀則 (戸水産高)
4 特別なニーズのある子の教育	「特別支援コーディネーターの取り組み」棟方幸子 (中館小) 「高校における通級指導教室の実践」佐藤正広 (尾上総合高)	工藤美子 (養小) 高村一也 (八戸第一養護)	松本敏治 (ガジュマルの会代表)
5 保健室	「コロナ禍と保健室」 井上佳林 (中沢中), 木村麻衣子 (いわさき小), 中村桜子 (甲洋小)	齋藤祐子(弘前北小)	今泉文子 (元養護教員)
7 コロナ禍から見えてきた学校	「ITC 教育で大切なこと—子供が幸せに生きるために」 千葉ゆか (青森でのびのびのびつ会) 「コロナ禍での青森県私学の状況—私学の生徒と学校の実態調査結果より—」小野守仁 (弘前学院聖愛)	山田千里 (新婦入)	村川みどり (青森市議) 中村修 (元教員)
6 学校事務 10:00～12:00	「コロナ禍から見える学校の姿」～各地のコロナ対策事業等について情報交流し、本来あるべき学校の姿を考えよう～ 小林尚治 (畑中)、上野勝彦(白銀中)	事務職員部委員会	



**参加申し込み・・・会場参加については当日参加も可。
ZOOM への参加申し込み及び入会期限は 11 月 2 日までです。**

学校名等	名前	参加方法 (○で囲む)	携帯番号カメラアドレス
		会場	ZOOM
		会場	ZOOM

※ ZOOM への入室の際に表示するお名前は「参加申し込み」に記入した名前をお願いします。

参加費振の込み先

※振の込み手数料は本人負担となります。

口座番号

加入者名

<ゆうちょ銀行>
<ゆうちょ銀行以外の金融機関から>

02310-6-5079
二三九店(239) 当座 0005079

青森県教職員組合
青森県教職員組合